



HCU・循環器病センターが稼働

(ハイケアユニット 高度治療室)

- ◆ 病院長ごあいさつ …P 1
- ◆ HCU・循環器病センターが稼働 …P 2
- ◆ ゲノム医療センターの紹介 …P2
- ◆ 自宅で手軽にできる運動トレーニング …P3

平素より岐阜市民病院に対しご支援を賜り、誠にありがとうございました。この度4月1日付けを持ちまして、富田栄一病院事業管理者より病院長という大役を拝命しました太田宗一郎でございます。どうぞよろしくお願いたします。

平成9年着任以来麻酔科診療を担当し、病院の一員として地域医療に従事し、その発展を見つめてまいりました。その間、多くの諸先輩方にご指導頂き、様々な方々に支えられてまいりました。また、診療を通して患者さんや家族の方々と接し、多くを学ばせていただきました。これからは、病院全体の運営に取り組み、今後の市民病院のあり方や将来構想などを模索しつつ、職務を遂行していく所存であります。

さて、今年になり新型コロナウイルスによる感染症（COVID-19）が



病院長ごあいさつ

病院長 太田 宗一郎
おおた しょういちろう

日本も含め世界各地に広がりつつあります。当院では、感染防止対策として、玄関において、来院目的と健康状態（発熱やせき等）の確認をさせていただいております。また、AI顔認識技術と赤外線カメラを使った体温測定も実施しております。入院患者さんへのお見舞いは、少人数、短時間に制限させていただきます。発熱等の疑いのある患者さんについては、他の患者さんと交わらないように、エリアを分けて診察しています。職員につきましては、本人及び家族の健康状態の把握を徹底し、発熱等がある場合は、出勤させず自宅待機としています。

このように職員全体で感染拡大を防ぐ取り組みを実施しつつ、通常どおりの診療・診察を行っています。いつもより診察、検査に時間がかかる等、ご不便をお掛けすることもありますが、ご思いですが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

当院は基本理念で、地域に信頼される病院になることをうたっております。市民病院としての使命は、住民が急病や事故のときに安心してかかれる救急医療、病院でこそできる入院医療、そして手術や高度な検査・治療を行うことにあります。この使命を果たすべく、これからも全力で取り組んでまいります。

HCU(ハイケアユニット) 高度治療室・循環器病センターが稼働

循環器病センター長

小塩 信介

当院は、特に緊急で重症な患者さんに対して行う高度急性期医療のさらなる充実を図るべく、従来からある集中治療室(ICU) 6床と中央診療棟5階のHCU 8床に加え、中央診療棟3階にHCU・循環器病センターとして新たに20床を整備し、重症患者さんへの診療体制を強化しました。

HCU・循環器病センターでは、血圧・脈拍・呼吸といった循環呼吸動態に問題を抱える患者さんを中心とした治療を行います。こうした患者さんは、血圧の変動や不整脈により病状が変化しやすいため、特に注意を要します。そのため、同センターでは、一般病棟より手厚い人員配置にて治療を行います。

さらに、同センターは、ICU、手術室、心臓血管造影室、心臓リハビリテーション室と同じフロアに位置しているため、短時間で手術・検査・治療に臨むことができます。



患者さん4人に対して看護師1人が配置されています(一般病棟は患者さん7人に対して看護師1人)



市民の皆さんの命と健康を守るため、安全で高度な医療のさらなる充実を目指していきます。

ゲノム医療センターの紹介

ゲノム医療センター長

田中 卓二

最近「ゲノム」という言葉を聞くようになりました。ゲノムとは、DNAに含まれる全ての遺伝子情報のことです。その遺伝子情報をもとに私たちの体は作られています。その情報を網羅的に調べて、より効果的かつ効果的に病気の診断や治療を行うのがゲノム医療です。

がんの治療には手術や化学療法(抗癌剤治療)、放射線治療など様々な方法があります。がん細胞のゲノム(遺伝子)を調べることにより、個々のがんに効果の期待できる治療がわかるようになっています。ゲノム医療センターでは、これらのゲノム(遺伝子)を検査し治療方法を見つけることで、患者さんの期待に応えるよう業務をおこなっています。

がんは遺伝子の異常(変異)によって起こる病気で、その変異は個々の患者さんと異なります。がんを調べるためには、体の中にできたがん細胞を採取する必要があります。担当の医師に

より検査や手術がおこなわれ、取り出されたがん細胞の遺伝子に特別な変化があるかどうかを調べます。例えば、胃や乳腺のがん細胞にはHER2と呼ばれる遺伝子の異常があることがあります。この遺伝子の異常には対応する治療薬があり、適切な治療を選ぶことが出来るようになります。また、がん細胞にマイクロサテライト不安定性と呼ばれる異常が見つかることもあります。この場合は、がんの種類や場所に限らず、効果の期待できる治療薬が決まります。

昨年6月より、がんゲノムプロファイルリング検査が保険医療として全国でおこなわれるようになりました。一度に100種類以上の遺伝子を検査して、がんの原因となる遺伝子を調べます。現在ではまだ治療につながる遺伝子が見つかる可能性は10〜20%程度と低いですが、有用性の期待できる新しい検査です。がんゲノムプロファイルリング検査は指定医療機関に限定して実施可能な検査です。当院はがんゲノム医療中核拠点病院の名古屋大学医学部附属病院との連携により、2018年12月にがんゲノム医療連携病院に指定されました。当院での検査結果は名古屋大学と共同で解析し、治療に結びつ

けることができます。

これらの検査を適切におこなうためには、担当の医師をはじめとして多くのスタッフの協力のもと、精度の高い検査体制が必要です。遺伝子検査をできるようにするには、採取されたがん細胞を正しく処理し、検査まで保管しておかなければなりません。状態が良ければ、他医療機関で採取されたがん細胞で検査することもできます。検査体の管理、臨床情報の保全、結果の

解釈や対応が重要です。現在、当センターにふさわしい新しい検査室が整備されており、より高度な処理が可能となる予定です。

ゲノムに基づくがん治療は、まだ十分に浸透しているとはいえない現状があります。近隣の各医療機関と当院担当医との連携に際しても、患者さん個々に応じたがん治療が提供できるように支援していきます。



自宅で手軽にできる運動トレーニング

リハビリテーション科

「廃用症候群」という言葉をご存じでしょうか。入院生活において、活動低下により機能が損なわれることで、脳卒中で半身麻痺の場合、良いほうの手足の活動も低下してしまったり、筋力が落ちてしまったり、骨折で安静固定のために、動くことができません。他の関節が固くなったたりする場合があります。

リハビリにおいて、障害となった部位を訓練する事は重要ですが、同様に動かせる部分を最大限に動かし、低下を来たさぬようにすることも大切となります。動かすということは、筋肉を動かし関節を動かし、それにより心臓や肺の機能も活動する。身体全てが連鎖していることとなります。日頃何気なく動いていることがいかに大切なことなのか考えさせられます。

今回のコロナ禍により日常生活が制限され、体調を崩していらっしゃる方も多いかと思えます。そんな皆さんに活用して頂けるように動画を用意いたしました。QRコードを読み取り、Y

ouTubeで視聴しながら運動をしましょう。YouTube 岐阜市公式チャンネル「椅子に座ってできる運動」で公開しています。状態に合わせてご利用いただければ幸いです。ご自身の体調に合わせ無理のない運動を継続していただきたいと思います。



YouTube 岐阜市公式チャンネル
「椅子に座ってできる運動」



※スマートフォン等で右のQRコードを読み取って動画をご覧ください。

当院の診療体制

感染拡大防止に最大限注意を払い、原則通常の診療体制としております

すべての方に対して、入館時に新型コロナウイルス感染症を疑う症状等の有無を確認しております
(発熱、咳、味覚嗅覚異常、感染者との濃厚接触、2週間以内の海外渡航歴)

	入館時の問診にて症状がなかった場合	入館時の問診にて症状があった場合
外来	通常通り行っております	診察室、待合を通常の外来と分けて行っております(発熱外来)
入院		必要な検査や感染防御を行ったうえで診療を行っております (症状や緊急度を勘案し、場合によっては延期させていただくことがあります)
手術		症状が軽快されるまで延期させていただきます
リハビリテーション		
外来化学療法		
放射線治療		発熱外来を受診いただき、診療を行っております (症状や緊急度を勘案し、場合によっては延期させていただくことがあります)
内視鏡検査		
生理検査		
救急		診察室、待合を通常の救急と分けて行っております(発熱外来)
人間ドック		通常通り行っております(呼吸機能検査除く)

感染予防には、職員だけでなく、患者さんのご協力も必要です。入館時には、マスクの着用、アルコールによる手指消毒もしくは手洗いをお願いしております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

令和2年7月13日 病院長

心温まるご声援・ご寄附を ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の拡大、長期化により、マスク・フェイスシールド・ガウン等の衛生材料の不足や医療スタッフのメンタルケアが大きな課題となっております。

そうしたなか、市民の皆さまや企業さまより、励ましの言葉とともに多くのご支援をいただいております。ご支援いただきましたものは、当院で大切に使用させていただきます。

皆さまからの心温まるご支援に深く感謝いたします。これからも当院の理念である「心にひびく医療の実践」に、スタッフ一丸となって取り組んでまいります。



外来診療のご案内

- 診療科目・・・内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、精神科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科

○休診日

土・日・祝日と12月29日～1月3日

※詳細はホームページでも紹介しています。

市民病院ホームページ <https://gmhosp.jp/>



岐阜市民病院

〒500-8513 岐阜市鹿島町7丁目1番地

TEL 058-251-1101(代表)

編集発行：岐阜市民病院 広報委員会